（様式1）

# 自己評価票～渚

参考様式

| 項目番号 | | 項目 | | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ○印<br>（取り組んでいきたい項目） | 取り組んでいきたい内容<br>（すでに取り組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 自己評価 | 外部評価 | タイトル | 小項目 | | | |
| Ⅰ．理念に基づく運営 | | | | | | |
| 1．理念の共有 | | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 | 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 施設理念として「いつも馴染みの環境で、ゆったりと楽しくその人らしい暮らしの中で喜びと自信を育てましょう」としている | | |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み | 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | ユニット内に理念を掲示し、いつでも見られるようにしている | | |
| 3 | | 家族や地域への理念の浸透 | 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる | ユニット内に掲示することにより来苑するご家族や地域の方に見ていただけるようにしている | | |
| 2．地域との支えあい | | | | | | |
| 4 | | 隣近所とのつきあい | 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | 施設近所は商業地帯であり、近隣へ買い物に行く時は入居者と一緒に行き、お店の人に入居者について理解してもらえるよう声をかけ合っている | | |
| 5 | 3 | 地域とのつきあい | 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 地元の花火大会や祭りに参加。GHと同じ階にある地域交流スペースを近隣自治会に開放。地元自治会の施設見学を受け入れている | | |
| 6 | | 事業所の力を活かした地域貢献 | 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | 認知症メモリーウォークに入居者と一緒に参加し、認知症に対する理解を地域に呼びかけた | | |
| 3．理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | | |
| 7 | 4 | 評価の意義の理解と活用 | 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 前回の評価を職員に周知し、業務の改善に取り組んだ | | |
| 8 | 5 | 運営推進会議を活かした取り組み | 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議で、入居者の状況や施設の運営状況について説明し、ご家族や地域住民の方にご意見をいただき、サービス向上に反映させている | | |
| 9 | 6 | 市町村との連携 | 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 千葉市GH連絡会主催の市担当者との懇親会に参加。また、運営上施設のみでの解決が困難な場合は市へ相談し指導いただいている | | |

| 項目番号 | | 項目 | | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ○印<br>（取り組んでいきたい項目） | 取り組んでいきたい内容<br>（すでに取り組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 自己評価 | 外部評価 | タイトル | 小項目 | | | |
| 10 | | 権利擁護に関する制度の理解と活用 | 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | 施設内研修のほか、社会福祉士の職員が必要に応じて活用できるよう支援している | | |
| 11 | | 虐待の防止の徹底 | 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている | 職員が研修に参加し、参加できない職員も情報を共有できるようにしている | | |
| ４．理念を実践するための体制 | | | | | | |
| 12 | | 契約に関する説明と納得 | 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 入居前面接時、体験利用時、入居時と、数回にわたり説明・相談できる機会をつくり、入居者や家族の不安解消に努めている | | |
| 13 | | 運営に関する利用者意見の反映 | 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 意見箱の設置、市介護相談員の訪問など、職員だけでなく管理者や外部の人に不満や苦情を言いやすい環境を作っている | | |
| 14 | 7 | 家族等への報告 | 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 入居者の日々の様子がわかる記録と施設だよりを毎月請求書に同封し、報告している。施設だよりはユニットにも掲示 | | |
| 15 | 8 | 運営に関する家族等意見の反映 | 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | ご家族等からいただいた意見、不満、苦情はユニット職員に伝え、サービスの向上に活かしている | | |
| 16 | | 運営に関する職員意見の反映 | 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 年に2回、人事考課を行う際に、職員の意見や提案を聞く機会をもうけている | | |
| 17 | | 柔軟な対応に向けた勤務調整 | 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている | 行事等で人手が必要なときは通常の人員配置より多い職員を配置し、対応できるようにしている | | |
| 18 | 9 | 職員の異動等による影響への配慮 | 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 今年度、異動は行っていない。離職者のある場合も、入居者のダメージが少なくなるように係わる配慮をしている | | |

| 項目番号 | | 項目 | | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ○印<br>（取り組んでいきたい項目） | 取り組んでいきたい内容<br>（すでに取り組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 自己評価 | 外部評価 | タイトル | 小項目 | | | |
| ５．人材の育成と支援 | | | | | | |
| 19 | 10 | 職員を育てる取り組み | 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 千葉市が主催する管理者研修、実践者研修に参加するほか、施設内での研修も行なっている | | |
| 20 | 11 | 同業者との交流を通じた向上 | 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 千葉県・千葉市のGH連絡会に加入し、勉強会や交流会に参加している | | |
| 21 | | 職員のストレス軽減に向けた取り組み | 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | 親睦会主催の食事会や忘年会などを通じ、交流を図れるようにしている | | |
| 22 | | 向上心を持って働き続けるための取り組み | 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | 年に2回の人事考課により、職員の勤務状況や実績の報告を受けている。また、施設内外の研修へ参加させている | | |
| **Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援** | | | | | | |
| １．相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | | |
| 23 | | 初期に築く本人との信頼関係 | 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 申し込み時、見学時、入居前の相談時、面接時など、利用開始前にご本人やご家族のお話を伺う機会をもうけている | | |
| 24 | | 初期に築く家族との信頼関係 | 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 申し込み時、見学時、入居前の相談時、面接時など、利用開始前にご本人やご家族のお話を伺う機会をもうけている | | |
| 25 | | 初期対応の見極めと支援 | 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 相談時に必要に応じて他の施設やサービスなどを紹介している | | |
| 26 | 12 | 馴染みながらのサービス利用 | 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 入居前の見学や面接、体験利用を通じて、本人が安心して利用開始できるように配慮している | | |
| ２．新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | | |
| 27 | 13 | 本人と共に過ごし支えあう関係 | 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | ユニットの運営にあたり、入居者の方に相談したり、職員が日々の悩みを相談したり、支えあいながら生活している | | |
| 28 | | 本人を共に支えあう関係 | 家族との職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | 来苑時に介助をお願いしたり、行事に協力していただくなど、運営に参加していただいている | | |

| 項目番号 | | 項目 | | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ○印<br>（取り組んでいきたい項目） | 取り組んでいきたい内容<br>（すでに取り組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 自己評価 | 外部評価 | タイトル | 小項目 | | | |
| 29 | | 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 | これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | ご本人とご家族の関係を伺い、良い関係が築けるように努力している | | |
| 30 | | 馴染みの人や場との関係継続の支援 | 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | ご家族に面会協力の依頼をしたり、馴れ親しんだ場所へ外出できるように支援している | | |
| 31 | | 利用者同士の関係の支援 | 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | 話すことが難しい人同士でも、職員が間に入ることによってコミュニケーションがとれるように支援している | | |
| 32 | | 関係を断ち切らない取り組み | サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | 退去者のご家族が来苑した際には最近の様子をうかがったり、併設施設のサービスを利用している場合はご本人に会いに行くなどしている | | |
| **Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント** | | | | | | |
| １．一人ひとりの把握 | | | | | | |
| 33 | 14 | 思いや意向の把握 | 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 自分の希望を表出することが難しい人が多いが、ご本人の表情や行動から希望を推察し、支援できるように配慮している | | |
| 34 | | これまでの暮らしの把握 | 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入居前の生活についてご本人やご家族から伺い、把握に努めている | | |
| 35 | | 暮らしの現状の把握 | 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | 普段の生活の様子から総合的に把握するよう努めている | | |
| ２．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | | |
| 36 | 15 | チームでつくる利用者本位の介護計画 | 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している | ご本人の処遇について、ご本人やご家族に希望を伺い、複数のスタッフで相談し、より良く暮らせるよう支援計画を作成している | | |
| 37 | 16 | 現状に即した介護計画の見直し | 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 変化が生じた場合はその都度相談してケアを見直し、計画を作成している | | |
| 38 | | 個別の記録と実践への反映 | 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日々の様子はケース記録として個別に記録し、カンファレンスの際に役立てている | | |

| 項目番号 | | 項目 | | 取り組みの事実（実施している内容・実施していない内容） | ○印（取り組んでいきたい項目） | 取り組んでいきたい内容（すでに取り組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 自己評価 | 外部評価 | タイトル | 小項目 | | | |
| ３．多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | | |
| 39 | 17 | 事業所の多機能性を活かした支援 | 本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 緊急一時的に併設施設の看護師に医療的な協力をしてもらったり、併設施設の行事やクラブ活動に参加できるよう支援している | | |
| ４．本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | | |
| 40 | | 地域資源との協働 | 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | 運営会議への民生委員の参加、避難訓練時の消防署の協力、沖縄県人会からのコンサートの招待など、協力してもらいながら支援している | | |
| 41 | | 他のサービスの活用支援 | 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | 当施設での生活が適当ではない場合は、必要に応じて他のサービスを紹介している | | |
| 42 | | 地域包括支援センターとの協働 | 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 現在そのような事例はないが、必要に応じて地域包括支援センターと協働したい | | |
| 43 | 18 | かかりつけ医の受診支援 | 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | かかりつけ医がない場合は、入居後施設の協力医療機関を紹介し、適切な医療を受けられるよう支援している | | |
| 44 | | 認知症の専門医等の受診支援 | 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | 協力医が千葉市主催の認知症研修修了者なので往診時に相談したり、必要に応じて精神科を受診するなどの支援をしている | | |
| 45 | | 看護職との協働 | 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | 併設施設の看護師に相談するほか、今年から看護師を常勤で1名配置し、日常の健康管理を行っている | | |
| 46 | | 早期退院に向けた医療機関との協働 | 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | 入院した際は医療機関へアセスメントシートを提出し、看護に役立ててもらっている。入院中も病院や家族と連絡を取り合い、退院後の生活に支障がないよう支援している | | |
| 47 | 19 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 | 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 元気なうちから看取りに関する希望確認書を提出していただき、重度化した場合や終末期の過ごし方について相談するようにしている | | |

| 項目番号 | | 項目 | | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ○印<br>（取り組んでいきたい項目） | 取り組んでいきたい内容<br>（すでに取り組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 自己評価 | 外部評価 | タイトル | 小項目 | | | |
| 48 | | 重度化や終末期に向けたチームでの支援 | 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | 看取り介護に備え、入居者様の希望を伺い、施設としての看取り指針を作成するなど準備を行っている。 | | |
| 49 | | 住み替え時の協働によるダメージの防止 | 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | 自宅への退居又は旅行前など、ご家族だけで介護する場合は事前に来苑していただき、介護方法について勉強していただいている | | |
| **Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援** | | | | | | |
| 1．その人らしい暮らしの支援 | | | | | | |
| （1）一人ひとりの尊重 | | | | | | |
| 50 | 20 | プライバシーの確保の徹底 | 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 記録は外部の人から見られないように保管している。不適切な言葉かけや対応がないよう職員同士注意し合い働いている | | |
| 51 | | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 | 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | 希望を表出しやすいように言葉かけを工夫したり、何か行う際は事前に説明し、自分で決めたり納得しながら暮らせるよう支援している | | |
| 52 | 21 | 日々のその人らしい暮らし | 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 強制的に何かに参加したりするのではなく、ご本人の希望を伺いながら、ご自分のペースで生活できるよう支援している | | |
| （2）その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | | |
| 53 | | 身だしなみやおしゃれの支援 | その人らしい身だしなみやおしゃれができるるように支援し、理容･美容は本人の望む店に行けるように努めている | ご家族に髪を切っていただいたり、髪が伸びすぎた場合は職員の方で時期を見計らって訪問理容に申し込む | | |
| 54 | 22 | 食事を楽しむことのできる支援 | 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 残念ながら一緒に準備ができる人はいないが、食器をさげたりするのは、調子の良い時にお願いして一緒に行っている | | |
| 55 | | 本人の嗜好の支援 | 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | 希望のある人にはお酒を提供している。ご家族からの差し入れや外出時に買ったおやつなどを楽しめるように支援している | | |
| 56 | | 気持よい排泄の支援 | 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | 普段から排泄パターンが把握できるよう記録し、なるべく失禁がないよう誘導している | | |

| 項目番号 | | 項目 | | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ○印<br>（取り組んでいきたい項目） | 取り組んでいきたい内容<br>（すでに取り組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 自己評価 | 外部評価 | タイトル | 小項目 | | | |
| 57 | 23 | 入浴を楽しむことができる支援 | 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 自立している人はいつでも入れるようになっている。介助を要する人は時間帯は決まっているが、その時間帯の中で希望を聞きながらご自分のタイミングで入浴できるよう支援している | | |
| 58 | | 安眠や休息の支援 | 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | 疲れなどを訴えることができない人は、ご本人の様子などをうかがいながら、疲れが見えたときは居室やソファで休めるよう支援している | | |
| （３）その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | | |
| 59 | 24 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 | 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | ユニットで行事を企画して参加していただいたり、買い物の同行などのお手伝いをしていただいている | | |
| 60 | | お金の所持や使うことの支援 | 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 管理できる人は自分でお金を所持している。買い物などの支払いの場面で、自分で支払いができるように支援している | | |
| 61 | 25 | 日常的な外出支援 | 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 併設施設や近所のスーパーなどに外出している | | |
| 62 | | 普段行けない場所への外出支援 | 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | 花見やドライブ、バスハイクなど、行事を企画し外出したり、ご本人に所縁のある場所に個別に外出したりしている | | |
| 63 | | 電話や手紙の支援 | 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 希望があれば電話ができるようになっている。共有スペースにはテレビ電話も設置している。手紙が読めない人には、職員が代読し、理解できるように支援している | | |
| 64 | | 家族や馴染みの人の訪問支援 | 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | 気軽に訪問できるよう配慮している | | |
| （４）安心と安全を支える支援 | | | | | | |
| 65 | | 身体拘束をしないケアの実践 | 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束をしないケアに取組み、外部の研修にも参加している | | |

| 項目番号 | | 項目 | | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ○印<br>（取り組んでいきたい項目） | 取り組んでいきたい内容<br>（すでに取り組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 自己評価 | 外部評価 | タイトル | 小項目 | | | |
| 66 | 26 | 鍵をかけないケアの実践 | 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 鍵をかけないケアに取り組んでいるが、職員が少なく十分に見守りができない時間帯は玄関に鍵を施錠している | | |
| 67 | | 利用者の安全確認 | 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | 常に入居者の所在を把握し、安全に配慮している | | |
| 68 | | 注意の必要な物品の保管・管理 | 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | 防火上火気類の使用は認めていないが、それ以外は居室で自由に保管していただいている | | |
| 69 | | 事故防止のための取り組み | 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | 法人内の事故防止委員会が主催する研修へ参加し、知識を学んでいる | | |
| 70 | | 急変や事故発生時の備え | 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | 消防の行う救命講習や施設内の避難訓練に参加し、応急手当や初期対応の訓練を行っている | | |
| 71 | 27 | 災害対策 | 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 併設施設や宿直者と協力しながら、消防署の指導の下定期的に避難訓練を行っている | | |
| 72 | | リスク対応に関する家族等との話し合い | 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている | 転倒などの事故が予想される場合は、予想されるリスクについてあらかじめご家族へ説明し、拘束などをしないで暮らす方法について相談している | | |
| （5）その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | | |
| 73 | | 体調変化の早期発見と対応 | 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | 定期的に看護師による健康管理を行い体調の変化や異変の早期発見に努めている。必要に応じてかかりつけ医へ相談し、適切な医療が受けられるよう支援している | | |
| 74 | | 服薬支援 | 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 薬情をユニットで保管し、服薬内容がわかるようにしている。服薬後の体調変化に留意し、変化がある場合はかかりつけ医へ相談し、適切な薬が処方されるよう支援している | | |

| 項目番号 | | 項目 | | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ○印<br>（取り組んでいきたい項目） | 取り組んでいきたい内容<br>（すでに取り組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 自己評価 | 外部評価 | タイトル | 小項目 | | | |
| 75 | | 便秘の予防と対応 | 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | 水分を多めにとる、食物繊維の多い物を献立に加える、歩行できる人は歩行する機会をもてるように支援している | | |
| 76 | | 口腔内の清潔保持 | 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | 義歯の洗浄、ハミガキティッシュによる口腔内清拭など、一人ひとりの状態に応じた支援をしている | | |
| 77 | 28 | 栄養摂取や水分確保の支援 | 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 主食をパンにする、カロリー制限に沿った食事を提供する、嚥下状態に合わせた食事形態、とろみをつけるなどの工夫をしている | | |
| 78 | | 感染症予防 | 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等） | ノロウイルス発生時に対応するための道具をユニット内に準備している。来苑者には手洗いうがいを呼びかけ、専用のコップと消毒薬をユニット洗面台に設置している | | |
| 79 | | 食材の管理 | 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | 食材は厨房で管理している。残飯なども食事の片付け後すぐ捨てるようにし、台所内が清潔に保てるようにしている | | |
| 2．その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | | |
| （1）居心地のよい環境づくり | | | | | | |
| 80 | | 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 | 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | 玄関周りに季節の花を植えている | | |
| 81 | 29 | 居心地のよい共用空間づくり | 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共用部では、季節に合った飾り付けをしたり、不快にならないように掃除をし、快適に過ごせるようにしている。時間帯に合わせて照明やロールカーテンで明るさの調整をしている | | |
| 82 | | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり | 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 共用部に自由に使えるソファやテーブル・椅子などを設置し、思い思いに過ごせるように工夫している | | |

| 項目番号 | | 項目 | | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ○印<br>（取り組んでいきたい項目） | 取り組んでいきたい内容<br>（すでに取り組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 自己評価 | 外部評価 | タイトル | 小項目 | | | |
| 83 | 30 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 | 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | ご本人が居心地良く暮らせるよう、ご家族にお願いして馴れ親しんだものを置いていただけるように工夫している | | |
| 84 | | 換気・空調の配慮 | 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | 換気に努め、入居者の状態を観察しながら温度調節に配慮している。ユニット内に加湿器も設置し、湿度調整にも努めている | | |
| （2）本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | | | |
| 85 | | 身体機能を活かした安全な環境づくり | 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 建物内部はバリアフリーで、エレベーターも車椅子の人が十分入れる大きさである | | |
| 86 | | わかる力を活かした環境づくり | 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | 混乱している時はわかりやすい言葉かけを行い、安心して暮らせるように支援している | | |
| 87 | | 建物の外周りや空間の活用 | 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | ベランダで季節の花や野菜を栽培し、観賞したり収穫した物を食べられるようにしている | | |

（様式1）

# 自己評価票

| 項目番号 | | 項目 | 取り組みの成果<br>（該当する箇所を〇印で囲むこと） |
|---|---|---|---|
| 自己評価 | 外部評価 | タイトル | |
| **Ⅴ．サービスの成果に関する項目** | | | |
| 88 | | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ①ほぼ全ての利用者の<br>②利用者の2/3くらいの<br>③利用者の1/3くらいの<br>④ほとんど掴んでいない |
| 89 | | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ①毎日ある<br>②数日に1回程度ある<br>③たまにある<br>④ほとんどない |
| 90 | | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない |
| 91 | | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない |
| 92 | | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | ①ほぼ全ての利用者がころへ出かけている<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない |
| 93 | | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない |
| 94 | | 利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない |
| 95 | | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている | ①ほぼ全ての家族と<br>②家族の2/3くらいと<br>③家族の1/3くらいと<br>④ほとんどいない |

| 項目番号 | | 項目 | 取り組みの成果<br>（該当する箇所を〇印で囲むこと） |
|---|---|---|---|
| 自己評価 | 外部評価 | タイトル | |
| 96 | | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ①ほぼ毎日のように<br>②数日に1回程度<br>③たまに<br>④ほとんどない |
| 97 | | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | ①大いに増えている<br>②少しずつ増えている<br>③あまり増えていない<br>④全くいない |
| 98 | | 職員は、活き活きと働けている | ①ほぼ全ての職員が<br>②職員の2/3くらいが<br>③職員の1/3くらいが<br>④ほとんどいない |
| 99 | | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない |
| 100 | | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ①ほぼ全ての家族等が<br>②家族等の2/3くらいが<br>③家族等の1/3くらいが<br>④ほとんどできていない |